



ひびき

Letter of the M.Y. elementary school
南山田小学校だより

～ ともだちいっぱい かがやく子 ～

学校通信 NO.356
令和8年度 5月号
令和8年 4月30日

表現する・発表する勇気を「安心」が支える

校長 岸 俊介

子どもたちの学習の様子を見て回ろうとスロープに差しかけたとき、上の階からとてもすてきな歌声が聞こえてきました。3階の音楽室からでした。心があたたかくなるひとときでした。

私は毎朝、正門と神無門に交互に立ち、子どもたちの登校を迎えています。気持ちのよいあいさつが返ってくるたびに、心があたたかくなります。

歌うことにせよ、あいさつにせよ、自分から「表現する」「発信する」ことは、実は大きな勇気がいることです。学校では、日々の授業の中で「表現する」「発信する」場面が多くあります。では、子どもたちはどうすれば勇気をもってそれらに取り組むことができるのでしょうか。

私は、そのためにまず「安心」を整えることが大切だと考えています。人は安心しているからこそ、自分を表現し、失敗を恐れずに挑戦することができるのです。

では、「表現する」「発表する」ことを支える「安心」は、どのように生まれるのでしょうか。その一つは、「受け止める側の受容的な姿勢」にあると考えます。相手の話にうなずきながら耳を傾ける、興味をもって聞く、笑顔で受け止める——。そのような姿勢に触れることで、「自分の考えを言ってみよう」「失敗しても大丈夫」と思える勇気が生まれます。これは、子どもも大人も同じではないでしょうか。

4月22日、全校児童が体育館に集まり、「1年生を迎える会」が行われました。1年生に寄り添うように入場する6年生の姿、児童集会委員会を中心に職員もともに行った全校での伝言ゲーム、体育館に響く歓迎の歌声、そして1年生の堂々とした感謝の言葉——。どの場面も心あたたまるものでした。

中でも印象的だったのは、1年生が感謝の言葉を述べる時の上級生のあたたかな眼差しです。子どもたちの中に、勇気をもって「表現する」「発信する」力が確かに育っていること、そしてそれを支える「受容的な姿勢」もまた育っていることを感じました。

あのあたたかな眼差しに包まれた体育館の光景こそ、本校のめざす姿であると感じました。これからも、子どもも大人も安心して過ごせる学校を目指してまいります。



☺学校ホームページをご覧ください☺
※各学年の活動や学校からのお知らせなどを掲載しています。ぜひご覧ください。
URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/minamiyamata/>

